

兵庫県福祉サービス第三者評価の結果

1 評価機関

名 称	株式会社 第三者評価	
所 在 地	兵庫県尼崎市道意町7-1-3	
評価実施期間	08年 2月20日～ 09年 3月3日 実地訪問調査日 2009年2月25日(水)	
評価調査者	HF05-1-0098 吉山 浩	HF06-1-0019 山田 奈津

契約日から
評価結果の確定日まで

2 福祉サービス事業者 概要

事業所名称： 夢の園保育園	種別： 第2種社会福祉事業 児童福祉施設 保育園
代表者氏名： 石塚 尚美 園長	開設年月日： 平成16年4月1日
経営主体： 社会福祉法人 夢工房	定員 120人
所在地：〒 661-0981 兵庫県尼崎市猪名寺2丁目4番2号	
電話番号： 06(4960)8880	FAX番号： 06(4960)8881
E-mail： yumesono@yumekoubou.or.jp	HPアドレス： http://www.yumekoubou.or.jp/hoiku/

3. 理念・方針等

保育理念：

子どもの最善の利益を考慮し、利用者主体を根幹に、行政、地域、保育園の緊密な連携を強化し、地域の子育て支援の核となる。

保育方針：

子ども一人ひとりが個性の進展、人格の尊重、人権の尊重を約束されながら、保育士に安心して心身を預託する。そしてその保障のもと、序子の内面を充実発揮し、生きる喜びを感じつつ、日々さまざまな自己体験を通して(生きる力)を身につけていく。

地域の生活文化や伝承文化に慣れ親しみ、興味を持つ。

地域の人々、心身に障害を有する人、異年齢(0歳～高齢者)の人たちにかかわりを持ち、いきるための知恵を学びあう。

4 特に力を入れて取り組んでいる点

家庭的な雰囲気環境づくりをしています。(各部屋の木の家具や落ち着いた敷物・緑の多い環境・ゆったりとした人的環境・個々に配慮したかわり)

0.1.2歳は小グループ担当制により、“子ども・保護者・保育士の密接な関係をつくる”保育を行っています。

3.4.5歳は教育的な環境づくりの一環として、縦割り保育・コーナー遊び・体育指導・音楽指導・ECC・書き方・リズムなどを行っています。

地域子育て支援の一環として、「わくわく保育(体験保育)」、「すくすく保育(絵本の読み聞かせ・手遊び等)」、「子育て、家庭相談」、「園庭解放」などを行い、「子育て、家庭相談」では、地域・公的機関の社会資源とネットワークを持ち、相談者の支援に活かしています。

行事は、子ども・保護者・地域・職員 みんなで楽しめます。

5 . 利用者の状況に関する事項 (平成21年1月1日現在) 年齢構成

0歳児	1歳児	2歳児	3歳児
17名	24名	24名	25名
4歳児	5歳児	合計	
29名	26名	145名	

6 . 職員の状況に関する事項 (平成21年1月1日現在)

職員配置	総数	園長	事務員	保育士	栄養士
常勤	28名	1名		18名	2名
非常勤	5名		パート1名	4名	
	調理員等	パート保育士	パート用務員	パート看護師	
常勤	1名	4名	1名	1名	
非常勤					

7 . ボランティアの受け入れ

- 平成20年度におけるボランティアの受け入れ人数(延べ人数) 39 人
- ボランティアの業務 保育全般 ・ 給食業務

8. 実習生の受け入れ

- 平成 20 年度における実習生の受け入れ人数（実数） 保育士 9 人

9. サービス利用者からの意見等の聴取について

- 御意見箱の設置
- 行事ごとにアンケートをとって、改善策を話し合い、計画を立てて、取り組み、次回に生かす
- 登・降園時に、保護者に直接、要望や意見を聞き、具体的な対策を立てて取り組んでいることを掲示板に張り出して知らせる

10 評価結果

総評

<p>特に評価の高い点</p> <p>「子どもが元気になることがかけ」プロジェクトを園内で立上げ、客観的なデータを取り、論文にまとめ、2009年5月の保育学会にて発表を予定している</p> <p>頑張る保育士に未来を感じさせる人事考課制度を備えている点</p> <p>あったかい保育園で、みんなが一生懸命です</p> <p>保育の実習生が、卒業後に保育士を敬遠する傾向を察知し、指導方法を変更し、実習中に“保育の楽しさ・やりがい”を伝え、保育士の自信を育てようとしている点</p>
<p>特に改善を求められる点</p> <p>1) 個々の課題に対し、改善は実施されている。しかし、体系的で一覧性のある改善計画書の作成までには至っていない。より一層のスピードアップも含め、課題のもぐら叩きで終わらない工夫を期待致します。</p> <p>2) 園長、主任、2名の副主任の4人のKEY PERSONの保育ノウハウを若い保育士に伝えるために、より一層、マニュアル化、個別指導等により、組織的・体系的・網羅的な仕組みを構築されることを期待致します。</p>

第三者評価結果に対する事業者のコメント

第三者評価受診を機に、評価基準の項目ごとに全職員がそれぞれの分担を決め、基本的なところから見直してきました。何回も話し合い、検討する過程で、課題の掘り下げ方・芋づる式に出てくる関連分野の新たな知識・新たな仕組みづくりが身についてきました。「園をもっと良くしていきたい」という全職員、保護者の思いと知恵が凝縮した期間でした。

今後、「体系的で一覧性のある改善計画書の作成」、「園のキーパーソンの知識や専門性を後輩に伝える具体的なしくみづくり」に、今回みんなで頑張った身につけたスキルを基に励みたいと考えています。

外部からの客観的な評価を真摯に受け止め、更に「保育の質の向上」、「具体的で目に見える保護者支援」「楽しんで働ける職場づくり」にみんなの力と知恵を結集して取り組んでいきたいと思ひます。

各評価項目に係る第三者評価結果（別紙1）

各評価項目に係る評価結果グラフ（別紙2）

評価細目の第三者評価結果

評価対象 福祉サービスの基本方針と組織

- 1 理念・基本方針

	第三者評価結果
- 1 - (1) 理念、基本方針を確立している。	
- 1 - (1) - 理念を明文化している。	a
- 1 - (1) - 理念に基づく基本方針を明文化している。	a
- 1 - (2) 理念や基本方針を周知している。	
- 1 - (2) - 理念や基本方針を職員及び利用者やその家族等に周知している。	a

特記事項

ホームページ・平成20年度法人事業計画・園長だより等に記載されており、
 玄関に掲示されている事も確認した。
 職員が、常に目にし、行動できるよう各クラスに常設してあるマニュアル・フ
 ァイルも確認した。

- 2 計画の策定

	第三者評価結果
- 2 - (1) 中・長期的なビジョンと計画を明確にしている。	
- 2 - (1) - 中・長期計画を策定している。	a
- 2 - (1) - 中・長期計画を踏まえた事業計画を策定している。	a
- 2 - (2) 計画を適切に策定している。	
- 2 - (2) - 計画の策定を組織的に行っている。	a
- 2 - (2) - 計画を職員や利用者に周知している。	a

特記事項

長・中期事業計画（作成19.3.31 平成19-29年度）は、園長・主任を中心に全
 職員の意見を取り入れながら策定されている。決定事項は、職員会議で伝達され、
 その議事録も確認した。また、ご父兄にも、『保育園だより』に記載し、分か
 り易く伝えている。

- 3 管理者の責任とリーダーシップ

	第三者評価結果
- 3 - (1) 管理者の責任を明確にしている。	
- 3 - (1) - 管理者自らの役割と責任を職員に対して表明している。	a
- 3 - (1) - 遵守すべき法令等を正しく理解するための取組を行っている。	a
- 3 - (2) 管理者のリーダーシップを発揮している。	
- 3 - (2) - 質の向上に意欲を持ちその取組に指導力を発揮している。	a
- 3 - (2) - 経営や業務の効率化と改善に向けた取組に指導力を発揮している。	a

特記事項

管理者の責任・権限 及び 役割分担を『職務分掌』、『組織図』等にて明確にし、会議等にて職員に伝え、いつでも誰でも閲覧できるようにしている。

また、一覧表にまとめられた遵守すべき法令等も確認した。

また、園長がリーダーシップを発揮し、「子どもの自己効力感と保育士の言葉かけとの関係性に関する研究」(H20.10.27)【Y保育園との共同プロジェクト】を全職員で行い、論文にまとめ、第62回大会 日本保育学会 (5/16-17千葉大学にて実施予定)で発表を予定。

評価対象 組織の運営管理

- 1 経営状況の把握

	第三者評価結果
- 1 - (1) 経営環境の変化等に適切に対応している。	a
- 1 - (1) - 事業経営をとりまく環境を的確に把握している。	
- 1 - (1) - 経営状況を分析して改善すべき課題を発見する取組を行っている。	
- 1 - (1) - 外部監査等を実施している。	

特記事項

入所児童数待機児童数の推移、一人当たりにかかる年間比較表 等のデータを
 確認し、経営環境を的確に捉えている事を確認した。また、平成20年度 自主
 監査実施報告書（20.3.28作成 K公認会計士事務所による外部監査）を確認。
 （外部監査は5年毎を予定）

- 2 人材の確保・養成

	第三者評価結果
- 2 - (1) 人事管理の体制を整備している。	a
- 2 - (1) - 必要な人材に関する具体的なプランを確立している。	
- 2 - (1) - 人事考課は客観的な基準に基づいて行っている。	
- 2 - (2) 職員の就業状況に配慮している。	a
- 2 - (2) - 職員の就業状況や意向を把握し必要があれば改善する仕組みを構築している。	
- 2 - (2) - 福利厚生事業に積極的に取り組んでいる。	
- 2 - (3) 職員の質の向上に向けた体制を確立している。	a
- 2 - (3) - 職員の教育・研修に関する基本姿勢を明示している。	
- 2 - (3) - 個別の職員に対して組織としての教育・研修計画を策定し、計画に基づいて具体的な取組を行っている。	
- 2 - (3) - 定期的に個別の教育・研修計画の評価・見直しを行っている。	
- 2 - (4) 実習生の受け入れを適切に行っている。	a
- 2 - (4) - 実習生の受け入れに対する基本的な姿勢を明確にし体制を整備している。	
- 2 - (4) - 実習生の育成について積極的な取組を行っている。	

特記事項

人事制度運用マニュアル、考課要領（共通要素評価表、専門要素評価表）、面談記録等を確認し、本人にフィードバックされる仕組みが機能していた。

また、「有給休暇管理簿」にて就業状況を把握し、「新人歓迎会 in 大阪プロレス（2008.5.26）」、「ドリーム・オリンピック大会2008」等の催しを行い、スタッフ間で、物が言いやすい関係を構築すべく努力していることを確認した。

『実習生受け入れの手引き』に基づき、平成20年度は、9名（S学園 4名、O短期大学 2名 他）に対し、“保育の仕事の楽しさ・やりがい”を伝えようとしている事を確認した。

- 3 安全管理

	第三者評価結果
- 3 - (1) 利用者の安全を確保するための取組を行っている。	
- 3 - (1) - 緊急時（事故、感染症の発生時など）の対応など利用者の安全確保のための体制を整備し機能している。	a
- 3 - (1) - 利用者の安全確保のためにリスクを把握し対策を実行している。	a

特記事項

平成20年11月12日、消防署の指導のもと実施した『避難訓練』で、“2分以内”で全員避難の課題を受け、職員会議にて対策を検討し、安全確保の体制を再構築し再度訓練を実施し、1分54秒のタイムで2分の壁を破った一連の活動は、特筆に値する。また、「ヒヤリ・ハット記録簿」も確認した。

- 4 地域との交流と連携

		第三者評価結果
- 4 - (1) 地域との関係を適切に確保している。		
- 4 - (1) -	利用者地域とのかかわりを大切にしている。	a a a
- 4 - (1) -	事業所が有する機能を地域に還元している。	
- 4 - (1) -	ボランティア受け入れに対する基本姿勢を明確にし体制を確立している。	
- 4 - (2) 関係機関との連携を確保している。		
- 4 - (2) -	必要な社会資源を明確にしている。	a a
- 4 - (2) -	関係機関等との連携を適切に行っている。	
- 4 - (3) 地域の福祉向上のための取組を行っている。		
- 4 - (3) -	地域の福祉ニーズを把握し、事業・活動を行っている。	a

特記事項

法人の理念の1項目 “ 地域の子育て支援事業の格となる ” を実現しようと、保育の専門性を地域に還元しようと、平成21年5-6月に 30-50名の方を集め子育て講演会を企画している事を確認した。

また、地域の町おこし事業プロジェクト、準備委員会等にも参加し地域とのネットワークづくりを行っている。

評価対象 適切な福祉サービスの実施

- 1 利用者本位の福祉サービス

	第三者評価結果
- 1 - (1) 利用者を尊重する姿勢を明示している。	
- 1 - (1)- 利用者を尊重したサービス提供について共通の理解をもつための取組を行っている。	a
- 1 - (1)- 利用者のプライバシー保護に関する規程・マニュアル等を整備している。	a
- 1 - (2) 利用者満足の上昇に努めている。	
- 1 - (2)- 利用者の意向の把握と満足の上昇への活用に取り組んでいる。	a
- 1 - (3) 利用者が意見等を述べやすい体制を確保している。	
- 1 - (3)- 利用者が相談や意見を述べやすい環境を整備している。	a
- 1 - (3)- 苦情解決の仕組みを確立し十分に周知・機能している。	a
- 1 - (3)- 利用者からの意見等に対して迅速に対応している。	a

特記事項

『プライバシー保護マニュアル』、『苦情解決マニュアル』、『やぎさんポスト』、相談員・複数の第三者委員等の役割・分担等を確認した。従来より、行事開催ごとに「アンケート」を実施していたが、今回、第三者評価の受審にあたり、兵庫県の規定ルールにはないが、評価機関の独自ルールにて保護者アンケート（実施期間 12月1日～20日）を実施。回収率も高く、満足度も高かった。改善要望事項もでていたので、随時、園が一丸となり改善されることを期待します。

- 2 サービスの質の確保

	第三者評価結果
- 2 - (1) 質の向上に向けた取組を組織的に行っている。	
- 2 - (1)- サービス内容について定期的に評価を行う体制を整備している。	a
- 2 - (1)- 評価の結果に基づき組織として取り組むべき課題を明確にしている。	a
- 2 - (1)- 課題に対する改善策・改善計画を立て実施している。	b
- 2 - (2) 個々のサービスの標準的な実施方法を確立している。	
- 2 - (2)- 個々のサービスについて標準的な実施方法を文書化しサービスを提供している。	b
- 2 - (2)- 標準的な実施方法について見直しをする仕組みを確立している。	a
- 2 - (3) サービス実施の記録を適切に行っている。	
- 2 - (3)- 利用者に関するサービス実施状況の記録を適切に行っている。	a
- 2 - (3)- 利用者に関する記録の管理体制を確立している。	a
- 2 - (3)- 利用者の状況等に関する情報を職員間で共有化している。	a

特記事項

個々のサービスの実施に関して、一部の業務は標準的な実施方法は文書化されています。今後、残りの業務についても文書化を進める予定との回答を得た。実施方法は年に2回、前期・後期に分け定期的に見直しをしています。職員間の情報共有は、毎月定期の職員会議、連絡会議、横断的な会議（栄養士会議、男性保育士会議等）の場で積極的に実施しています。

- 3 サービスの開始・継続

	第三者評価結果
- 3 - (1) サービス提供の開始を適切に行っている。	
- 3 - (1) - 利用希望者に対してサービス選択に必要な情報を提供している。	a
- 3 - (1) - サービスの開始にあたり利用者等に説明し同意を得ている。	a
- 3 - (2) サービスの継続性に配慮した対応が行われている。	
- 3 - (2) - 事業所の変更や家庭への移行などにあたりサービスの継続性に配慮した対応を行っている。	b

特記事項

独自に園案内のリーフレットを作成し、市役所支所等で積極的に情報を提供しています。また地元自治会にも協力を依頼し、園の情報を掲示しています。利用希望者の見学の場合もアレルギー情報を事前にお聞きし、園の環境整備等アレルギー対策をしています。事業所の変更や過程への移行などの場合の情報提供の引継ぎは口頭で実施しており、文書で手順を定めていません。今後、行政等関係諸機関と調整し、文書化を進めるとの回答を得ました。

- 4 サービス実施計画の策定

	第三者評価結果
- 4 - (1) 利用者のアセスメントを行っている。	
- 4 - (1) - 定められた手順に従ってアセスメントを行っている。	a
- 4 - (1) - 利用者の課題を個別のサービス場面ごとに明示している。	a
- 4 - (2) 利用者に対するサービス実施計画を策定している。	

- 4 - (2) - サービス実施計画を適切に策定している。	a
- 4 - (2) - 定期的にサービス実施計画の評価・見直しを行っている。	a

特記事項

児童票等各種情報を活用し、園児一人ひとりに対してPDCAを実施し、3ヶ月ごとに課題の見直しをしています。

担任が担当となって、責任を持ってサービス実施計画を作成しています。

評価対象 実施する福祉サービスの内容

- 1 子どもの発達援助

	第三者評価結果
- 1 - (1) 発達援助の基本	
- 1 - (1) - 保育計画が、保育の基本方針に基づき、さらに地域の実態や保護者の意向等を考慮して作成している。	a
- 1 - (1) - 指導計画の評価を定期的に行い、その結果に基づき、指導計画を改定している。	a
- 1 - (2) 健康管理・食事	
- 1 - (2) - 登所時や保育中の子どもの健康管理は、マニュアルなどがあり子ども一人ひとりの健康状態に応じて実施している。	a
- 1 - (2) - 健康診断の結果について、保護者や職員に伝達し、それを保育に反映させている。	a
- 1 - (2) - 歯科健診の結果について、保護者や職員に伝達し、それを保育に反映している。	a
- 1 - (2) - 感染症発生時に対応できるマニュアルがあり、発生状況を保護者、全職員に通知している。	a
- 1 - (2) - 食事を楽しむことができる工夫をしている。	a
- 1 - (2) - 子どもの喫食状況を把握するなどして、献立の作成・調理の工夫に活かしている。	a
- 1 - (2) - 子どもの食生活を充実させるために、家庭と連携している。	a
- 1 - (2) - アレルギー疾患をもつ子どもに対し、専門医からの指示を得て、適切な対応を行っている。	a
- 1 - (3) 保育環境	
- 1 - (3) - 子どもが心地よく過ごすことのできる環境を整備している。	a
- 1 - (3) - 生活の場に相応しい環境とする取組を行っている。	a
- 1 - (4) 保育内容	
- 1 - (4) - 子ども一人ひとりへの理解を深め、受容しようと努めている。	a
- 1 - (4) - 基本的な生活習慣や生理現象に関しては、一人ひとりの子どもの状況に応じて対応している。	a
- 1 - (4) - 子どもが自発的に活動できる環境を整備している。	a
- 1 - (4) - 身近な自然や社会とかかわれるような取組を行っている。	a
- 1 - (4) - さまざまな表現活動が体験できるように配慮している。	a
- 1 - (4) - 遊びや生活を通して人間関係が育つよう配慮している。	a
- 1 - (4) - 子どもの人権に十分配慮するとともに、文化の違いを認め、互いに尊重する心を育てるよう配慮している。	a
- 1 - (4) - 性差への先入観による固定的な観念や役割分業意識を植え付けないよう配慮している。	a
- 1 - (4) - 乳児保育のための環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	a
- 1 - (4) - 長時間にわたる保育のための環境が整備され、保育の内容や方法に配慮している。	a
- 1 - (4) - 障害児保育のための環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	a

特記事項

毎年園の夏祭りは、地元自治会、婦人会、子ども会のみなさんと共催し、地域との交流をはかっています。保育時間中に園でECC、公文教室、体操教室、ピアノレッスン等のサービスを準備し、希望にあわせて利用できるようになっています。園児の状態については登園時・降園時に必ず保護者のみなさんと話をし、その内容を記録し、職員全員が必ず記録に目を通して確認しています。健康診断の結果に関しては口頭と掲示の複数の方法で保護者に周知しています。個別に連絡する必要がある場合は再度お知らせします。う歯等のある園児には個別に日々の歯磨き後のチェックをしています。園庭で毎年夏野菜を育て、それを給食に活用しています。おやつは毎日手作り。アレルギー食はすべて園で対応しています。

- 2 子育て支援

	第三者評価結果
- 2 - (1) 入所児童の保護者等への育児支援	
- 2 - (1) - 一人ひとりの保護者と日常的な情報交換に加え、個別面談などを行っている。	a
- 2 - (1) - 家庭の状況や保護者との情報交換の内容を必要に応じて記録している。	a
- 2 - (1) - 子どもの発達や育児などについて、懇談会などの話し合いの場に加えて、保護者と共通理解を得るための機会を設けている。	a
- 2 - (1) - 虐待を受けていると疑われる子どもの早期発見に努め、得られた情報が速やかに所長まで届く体制になっている。	a
- 2 - (1) - 虐待を受けていると疑われる子どもの保護者への対応について、児童相談所などの関係機関に照会、通告を行う体制が整っている。	a
- 2 - (1) - 一時保育は、一人ひとりの子どもの心身の状態を考慮し、通常保育との関連を配慮しながら行っている。	a

特記事項

懇談会は全体懇談会と個別懇談会をそれぞれ年に1回ずつ開催しています。虐待に関しては関係諸機関と連携し、迅速な対応をしています。

- 3 安全・事故防止

	第三者評価結果
- 3 - (1) 安全・事故防止	
- 3 - (1)- 調理場、水周りなどの衛生管理は、マニュアルに基づいて適切に実施している。	a
- 3 - (1)- 食中毒の発生時に対応できるマニュアルがあり、さらにその対応方法については、全職員にも周知している。	a
- 3 - (1)- 事故防止のためのチェックリスト等があり、事故防止に向けた具体的な取組を行っている。	a
- 3 - (1)- 事故や災害の発生時に対応できるマニュアルがあり、全職員に周知している。	a
- 3 - (1)- 不審者の侵入時などに対応できるマニュアルがあり、全職員に周知している。	a

特記事項

清掃箇所は園長が清掃と同時に状況を確認しています。

衛生管理について毎月の職員会議で検討会を実施しています。また独自にチェックリストを作成し、衛生状態の維持に努めています。

事故防止のためにヒヤリハットの報告書を2週間に1回定期的に作成しています。

集積したヒヤリハットの事例を統計化し、事故防止に役立てています。